

小林市議会「市民との意見交換会」地区別意見交換会【報告書】

開催地区	小林小校区	担当班	議員名	担当
参加人数	17人		溝口 誠二	司会進行
開催日	平成28年7月19日(火)		西上 隆	活動報告(総務文教)
開催時間	午後7時～午後8時53分		原 勝信	(経済産業)
会場	中央公民館		大迫 みどり	(市民厚生)
その他			◎福本 誠作	(広報広聴)
			西上 隆	記録・報告書作成

◎班代表者

意見交換会の内容		※□市民の意見	■議員の意見
統一テーマ	<p>「より豊かな市民生活の向上を目指して」</p> <p>～住民自治に根ざしたきずな協働体について～</p> <p>～人口維持対策(雇用対策)について～</p> <p>～子育て・少子化対策について～</p>		
<p>【意見交換の概要】</p> <p>□きずな協働体は何をしようとしているのか分からない。区、組は自治会だから市議会や行政から、とやかく言われる筋合いはない。何をしようとしているのかまず分からない。</p> <p>■各団体が地域にある。横の繋がりを強くし、まとまって地域のために動き、小林の発展に繋がれば良いと考えている。</p> <p>□自治体が駄目だから小林は発展しない。予算をつけて改めてきずな協働体をつくる必要があるのか。</p> <p>■昔は結いの精神があった。もう一度地域のつながりができるようになれば、将来的には小林の発展が期待できる。</p> <p>□コミュニティーを作って、皆が集まって焼酎飲んで終わりでは意味がない。種まきをどうするかという事になる。</p> <p>□組数が以前とすると少なくなった、組への加入がなかなか厳しい。議員のこれはどうかという事を、ただ箇条書きでなくて、こういう事をしたから、こんなに成ったという物もほしい。参考になる事例があれば具体的に聞かせていただきたい。</p> <p>■各地域の方々がどんな形で行くか、それを私たちがどんな形で後押ししていくか。意義と着地点を明確に分かるように、もっと勉強して皆さんに分かり易く、説明が出来るよう進めていく。</p> <p>□農業はいっぱい支援しても良いとおもう。農業はセーフティーネットが無いので補助金は必要と思う。</p> <p>■農家の方々には本当に有り難い意見。農家が作物に自信を持って売れる農業ができれば</p>			

ば、後継者ができる。農家が儲かるための施策を打ち出し、目的に合った補助をする事が必要だと思う。

□子育て少子化対策の目的は。

■目的は大きく人口減少と少子化対策で、子育てしやすい環境にする事が少子化対策につながるという事で意見をまとめている。

□人口が増えている都市がいくつあるのか。ほとんど減っている。小林が子育て支援をしても増えるはずがない。育てた子が市外に出てしまえば何もならない状況である。

■急激に増える事はない。今は人口減少を食い止める対策をしている。小林に住み続けてもらう事、魅力ある小林になるのか市全体で考え、どうしたら人口維持につながるか。雇用・少子化・結婚対策、子育てしやすい環境、子供を産める病院がある、子育てする時に救急でも来てくれる小児科がある等、それが全部重なれば、人口維持につながると思う。

自由意見の交換

※□市民の意見 ■議員の意見

□江南跡地の今後の進め方は。パートの募集をするが応募者が少ないのはなぜか

■江南跡地の複合施設には、1階の商業施設にはスーパーを入れることには変わらない。職種によって、応募者の偏りがある。

□最低賃金もネックに成っているのではないか。

■正社員としての応募が少ないのも問題である。臨時的な採用がふえている。我々も研究しながら検討をしていく。

□補助金がもらえなくても進めるのなら、1億円出資しなくても良かったのではないか。

■新たな1億円を小林まちづくり(株)で調達する。

□医師の定年延長をしない方が、後任の医師が来るのではないか。本気で医師確保をする気持ちがあるのか。

■手術をする時は内科医が必要。単純に辞められてから後任が来る状況ではない。

□医師確保は市長の公約。8年経っても進展が無い。議会ももう少し追及してほしい。

■地域医療対策監もいるので、議会も一緒になって頑張っていきたいと思う。

□医師が来ないのは、よそと比べて給与が安いのではないか。

■医師の少ないのは全国的な問題。今後も行政とともに医師確保に努めたい。

□市立病院の問題だが、外来はいつも受け付けられるのか。病院の経済状況は。

■外来は紹介状が無くてもよい。受付ができる。経営状況は27年度は黒字であった。

□単年度の黒字と聞いたが、市からの持ち出しがあるかではないのか。市からの持ち出し

がいくらでもあれば黒字になるが。

■27年度は改善がされている。今後医師確保は早急に取り組み、医師確保に努めたい。

□返礼品はなぜ4割なのか。これは決まったものがあるのか。返礼品で地場産業が潤えばいいので、全額返礼品に使えると地場の活性化に繋がるのでは。

■市民全体からの返礼品を返せればよいが、限られた生産農家、加工するところからの品物を使っている。残り6割を市民全部へ指定目的に合わせて還元している。

□これは地場の産業が活発に成る様な使い方を。地場の農家が元気になれば良い。全部返していいのであれば、全部返してほしい。

■議会からも返礼品について多くの方々が手を上げられる様に基準を作ってくれないかと市のほうにも言っている。

□去年の病院の事でやはり同じような答弁で消化不良。消化不良で来たくなくなる。だから少ないのであろう。もう少し考えてもらいたい。

□消防協力費は地域で全然違う。少子高齢化で世帯数が減って行く中で、100万円作れなくなる。来年意見交換をされるのであれば、ちゃんとした資料を持って来てもらいたい。

■現状で把握できる数字は準備して報告したい。消防協力費についても統一したものが必要であるのではないかと提案している。

□小林市民が小林の事を知らない。小林を知るための取り組みをするべきと思うが。

■市民が小林を知ることが大事だとおもう。どんな方法があるか議会としても考えたい。

□都市計画税を0.2パーセント上積されて払っている。恩恵に与っていない地区が沢山あると思う。それを全域的に与かるように考えていただきたい。

□防犯灯、街灯などの電気料金をふるさと納税で充てられないか。

■他市の状況を勉強して議会として協議していきたい。ふるさと納税を電気料に利用するという意見は、今後協議を深める。

□小林は農業が盛ん。野菜が一番安いところだとおもう。その野菜を身近に求める所が市の中央部で無い。

■今回駅の交流スペースを造るので、そういうところでも買えないか、安心安全の小林の農産物を食べるのが一番良い。色々な機関と協議して進めていきたいと議員間では話があるので。

□当初予算の基本方針は要求ベースで90パーセントとあったが、出てきた予算は対前年比8.3パーセントの増となっていた。なぜ議員は反対しなかったのか。

■基本ベースの削減は出来ていた。今年度、来年度は地方創生の予算が組み込まれている。増えた分は地方創生の部分だと理解している。

政務活動費について誰がチェックするのか。調査研究したレポートはどこでみられるのか。

■ 政務活動費については、1円以上から領収書を付けて提出している。調査報告についてもすべての議員が報告書を出して議長が目を通している。議会事務局に申請を上げれば誰でも過去5年間分を閲覧できる。

領収書はだれがチェックしているのか。

■ 議会事務局が全部チェックしている。最終的には議長が目をとおす。二重でチェックしている。

資料費、書籍新聞代、インターネット接続料は、議員の活動と個人の分と分けられているのか。調査研究費は今年どこに行つて何を見てきた、こうした政策提言をしたのが分かる資料が欲しい。

■ 6月議会の議会だより「はなみずき」の中に、27年度の各会派で行つた政務調査や活動状況を掲載している。

庁舎建設に伴い、庁舎利用者用の駐車場が少ないので、駐車場の確保をお願いしたい。

■ 整理員を置いて、スムーズに駐車できるよう対応している。

議会活動報告への意見

※ 市民の意見 ■ 議員の意見

特になし